

令和 3年度 「校庭芝生化地域連携事業」 実績報告書

区市町村名	杉並		
学校名	杉並区	立	新泉和泉小学校

1 事業目的 協議会名 杉並和泉学園校庭芝生化推進協議会

本学園は、旧和泉小学校、旧新泉小学校、和泉中学校の三校が統合し、開園して7年目を迎える。それ以前からある芝生校庭である。

- 一 卒業生、その保護者、地域の方に守られてきた芝生を、これからも維持していくこと。
- 一 現児童・生徒が芝生校庭を活用した授業、行事等のかかわりを通して、心身の育成に役立てること。
- 一 芝生の手入れ等を通して、学園、保護者、卒業生、地域の方々とのかかわりや絆を深めていくこと。

以上を主な目的として、事業に務める。

2 主な取組と成果

- ・本事業を活用することで、地域の協力はもとより、卒業生の保護者や元教職員の参画による体制を、継続することができた。
- ・前年度の係にあたるPTAの役目を、新一年生の芝刈り体験支援までとしたことで、年度当初においてもスムーズに学習を行うことができた。
- ・オケラ出沒により、芝の維持が心配されたが、専門性の高いサポートスタッフの定期的な確認と助言により、今年度も芝生を維持できた。

3 取組内容

①芝刈り体験

令和3年4月24日(土)  
第1学年5学級 児童・保護者  
児童166名 保護者約50名  
スタッフ20名 学園の芝の大切を説明すとともに、実際に芝刈りを体験して、芝生の愛情を育む気持ちを継承していく。



②中学部体育競技会

令和3年6月5日(土)  
中学部生徒245名 教職員50名  
観戦者数(累計)約1400名 100m走  
クラスリレー・選抜リレー・800m走他



③わくわくプロジェクト

令和3年10月15,22日(金)  
近隣の幼稚園・保育園 園児約80名  
コロナ禍による工夫で、入学前の園児の体験活動・芝生や遊具を使って遊ぶことを通して、小学校入学への希望や期待を育む。



4 今後について

- ・本来、PTAの担当を中心に、毎週土曜日に各学級の親子芝刈りを実施してきたが、コロナ禍における緊急事態宣言下の期間の芝刈り活動は、教職員及び中学部特別支援学級の生徒で対応してきた。
- ・小学部体育的活動が11月末に実施されることにより、例年行っている芝生の冬支度(サンサンシート張り)は、冬休み直前に行う予定である。
- ・中学部部活動や区主催のタグラグビー教室、また学童保育、放課後居場所事業所等、引続き芝生を活用した様々な活動を展開することで、心身を健全に養う場となる。
- ・昨年度からのオケラ出沒により、今後の芝生維持が心配されるが、児童生徒とその保護者や地域や卒業生、その保護者と、芝生を中心とした地域との協働を引続き図るよう努めていきたい。